

平成26年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 アプライド株式会社

上場取引所 東

コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画部長 (氏名) 坂井 雅実

TEL 092-481-7801

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	19,262	13.8	27		30		4	
25年3月期第3四半期	16,932	7.1	355		342		353	

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 16百万円 (%) 25年3月期第3四半期 351百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	3.66	
25年3月期第3四半期	271.11	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	11,538	3,055	25.8
25年3月期	11,810	3,105	25.6

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 2,978百万円 25年3月期 3,027百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期		30.00		30.00	60.00
26年3月期		30.00			
26年3月期(予想)				30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,350	1.5	185		220		115		88.99

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	1,351,600 株	25年3月期	1,351,600 株
26年3月期3Q	87,341 株	25年3月期	96,398 株
26年3月期3Q	1,259,071 株	25年3月期3Q	1,304,395 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1 . 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2 . サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3 . 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策と日銀による金融政策への期待感から、為替は円安傾向で推移し、企業業績や景気は緩やかな回復傾向にある一方、消費税増税の影響の懸念や欧州経済の低迷、新興国経済の成長鈍化等による景気押し下げリスクもあり、依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループは、商品・サービス・販売チャネルを重点項目に置き、法人顧客に対する展開を強力に推進し、売上の拡大と基盤強化を図りました。

店舗展開におきましては、パソコン専門店「アプライド」26店舗、テレビゲーム専門店「シータショップ」15店舗、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」4店舗を運営し、グループ全体で合計45店舗体制により、それぞれの専門店としての差別化を推進いたしました。パソコン専門店「アプライド」では、法人・ビジネスユーザー向けの販売にシフトし、品揃えとサービスの見直しを図り、店頭営業体制の切り替えを行いました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするS I営業では、営業拠点の拡充とエリアの拡大および営業人員の増強を図り、技術力を活かしたプライベートブランド製品及びサービスを軸に、ソリューション営業を推進いたしました。卸販売を中心とした特機営業では、大都市圏を中心とした拠点の整備を行い、特に首都圏における商品調達と仕入先開拓の向上を図ると同時に、人員増強による販売チャネルの開拓を行い、売上の拡大を強力に推進いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間による売上高は192億62百万円、利益面におきましては、経常利益は30百万円、四半期純利益は4百万円となりました。

セグメント別の売上高は次の通りです。

パソコン・ゲーム事業は、専門店の品揃えやサービスの提供に注力し、他社との差別化を図るとともに、法人・ビジネスユーザー向けの販売を強化することにより、売上高は188億30百万円となりました。

化粧品・雑貨事業は、化粧品・雑貨専門店「ハウズ」の大型店の1号店となるハウズ熊本店を11月にオープンしました。プライベートブランド製品や差別化商品を中心とした品揃えに注力し、店舗販売を強化することにより、売上高は1億70百万円となりました。

出版・広告事業は、販促全般に関するメディアビジネスを展開し、紙媒体およびデジタルメディアを応用した商品、サービスの提供を行うことにより、売上高は2億61百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ2億72百万円減少し、115億38百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少5億21百万円とたな卸資産の増加3億97百万円によるものです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ2億21百万円減少し、84億83百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少2億50百万円と1年内返済予定の長期借入金の増加1億77百万円によるものです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ50百万円減少し、30億55百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少70百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は、25.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、概ね予想通りに推移しており、現時点では平成25年5月14日に公表いたしました通期の業績予想から修正を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の見積額を期間按分して算定する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,309	788
受取手形及び売掛金	2,112	2,001
たな卸資産	2,663	3,061
その他	357	392
貸倒引当金	10	9
流動資産合計	6,433	6,233
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,563	1,587
土地	2,481	2,481
その他(純額)	97	96
有形固定資産合計	4,142	4,165
無形固定資産		
投資その他の資産	15	17
敷金及び保証金	1,018	968
その他	200	152
投資その他の資産合計	1,218	1,120
固定資産合計	5,377	5,304
資産合計	11,810	11,538

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,792	1,770
短期借入金	700	450
1年内返済予定の長期借入金	894	1,072
未払法人税等	17	20
賞与引当金	168	82
ポイント引当金	95	75
その他	1,072	989
流動負債合計	4,739	4,460
固定負債		
長期借入金	3,315	3,371
長期末払金	403	402
退職給付引当金	232	239
負ののれん	0	-
その他	14	10
固定負債合計	3,965	4,022
負債合計	8,705	8,483
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	403	405
利益剰余金	2,359	2,288
自己株式	107	97
株主資本合計	3,037	2,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10	0
その他の包括利益累計額合計	10	0
少数株主持分	77	76
純資産合計	3,105	3,055
負債純資産合計	11,810	11,538

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第 3 四半期連結累計期間)

(単位 : 百万円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年12月31日)
売上高	16,932	19,262
売上原価	12,444	14,846
売上総利益	4,487	4,415
販売費及び一般管理費	4,843	4,387
営業利益又は営業損失 ()	355	27
営業外収益		
受取利息	5	5
受取手数料	12	10
負ののれん償却額	29	0
その他	18	50
営業外収益合計	67	66
営業外費用		
支払利息	49	44
為替差損	3	18
その他	1	1
営業外費用合計	54	64
経常利益又は経常損失 ()	342	30
特別損失		
固定資産除却損	-	13
特別損失合計	-	13
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 ()	342	17
法人税、住民税及び事業税	12	21
法人税等調整額	3	10
法人税等合計	9	11
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 ()	351	6
少数株主利益	2	1
四半期純利益又は四半期純損失 ()	353	4

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	351	6
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	0	10
その他の包括利益合計	0	10
四半期包括利益	351	16
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353	14
少数株主に係る四半期包括利益	2	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。